



「いきいき なかよく のびのびと 笑顔あふれる 稲野小学校」

伊丹市立稲野小学校長 竹垣 直志



早いもので、令和7（2025）年も終わろうとしています。この2学期は、昨年度に比べて大きな行事は少なかったですが、子どもたちは体育大会等の行事にしっかり取り組みました。また、3学期に行われる図工展に向けての作品作りに取り組んでいます。

今年も地域の方に、門松を作っていただきました。子どもたちから「きれい」「すごい」という声が聞かれました。子どもたちも新年を迎える雰囲気を感じているようです。

日々の学校生活の中で、少しずつ子どもたちが成長しているのは、保護者、地域、関係期間の皆様のお力添えのおかげだと改めて感じております。今年も、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

1 終業式

終業式では、「1年をふりかえり、新年の目標を立てること」「家族の一員として手伝いをする事」について話しました。

掃除、片付けや食事の準備など、各ご家庭の様子に合わせて子どもたちのできることを行うことは、大切なことだと思います。ぜひ家族で相談して、小さなことでも子どもたちのやることを決めて、お子様に向けて取り組んだことについて評価していただければと考えています。

冬休みの生活の話では、生活委員が考えた俳句の紹介がありました。「ふえるお金 大事に使う お年玉」「ゆうぐれが 早い冬には 気をつける」「やっつけよう インフルエンザ 手洗いで」「スマートフォン 時間を守って 使用する」「みぎひだり 車が来ないか 確認を」の5句です。よく考えられています。

2 安全に生活するために

地域の方から、子どもたちの安全等に関わることについての話を聞きます。①左右を確認せず道を横断すること、②車が低速で近づいていても気にせず車に近づいていくこと、③駐車場など私有地に入ることです。大きな事故や地域の方の迷惑になるかもと心配されています。学校でも、その都度学級指導をしています。

保護者の皆様には、お子様と外に出かける場面で様子を見ていただき、道路の渡り方や走行している車に対しての注意喚起、どこが私有地なのかの確認をその都度行っていただけたらありがたいです。

よろしくお願いいたします。